

関東学院大学大学院 看護学研究科看護学専攻 授業計画(シラバス)概要版

科目名	看護研究方法論	
担当者	永田真弓、深谷安子	
授業の到達目標及びテーマ	<p>1.看護学分野における研究の特徴とその実際について理解する。 2.看護活動や看護実践における疑問が研究課題へと発展する、その研究プロセスについて理解する。 3.看護実践の質向上に繋がる研究活動について理解する。</p>	
授業の概要	看護研究の概念、研究活動の実践的意義、研究倫理、文献検索・レビュー、量的・質的研究、研究論文クリティークについて教授する。	
授業計画	a. 内容の概要:授業回ごとの具体的授業内容 b. 到達目標:授業回ごとに目標とする理解度の目安	
第1回	a.	オリエンテーション、看護における研究(永田真弓)
	b.	看護研究の目的と意義(修士論文を作成する目的)、研究成果の公表(プレゼンテーション)について理解する。
第2回	a.	研究計画と倫理的配慮(永田真弓)
	b.	研究計画書作成までのプロセスを概観し、研究課題や目的に沿った研究デザイン・方法の種類、研究における倫理的配慮について理解する。
第3回	a.	文献検索・レビュー(永田真弓)
	b.	文献検索・レビューの意義と方法について理解する。
第4回	a.	量的研究方法(深谷安子) 1) 量的研究プロセスの概観
	b.	量的研究方法の特性と研究プロセスを理解する。
第5回	a.	2) 量的研究方法における研究問題、研究目的の明確化(深谷安子)
	b.	量的研究における研究問題の定式化の重要性が理解できる。
第6回	a.	3) 研究変数について(深谷安子)
	b.	変数とは何か、変数のタイプ、変数並びに概念の操作的定義について理解する。
第7回	a.	4) 量的研究デザインについて(深谷安子)
	b.	量的研究デザインの種類と研究問題に応じたデザイン選択の重要性が理解できる。
第8回	a.	5) 標本と測定について(深谷安子)
	b.	量的研究のベースとなる標本抽出と、測定尺度について理解する。
第9回	a.	6) 統計解析について(深谷安子)
	b.	解析の基礎となる検定と過誤、パラメトリックとノンパラメトリック統計解析について理解する。
第10回	a.	質的研究方法(永田真弓) 1) 質的研究の概要
	b.	質的研究の研究計画におけるステップ・プロセス、理論的背景と種類、質的研究の特徴について理解する。
第11回	a.	2) 研究計画における質的アプローチの研究プロセス (永田真弓)
	b.	研究計画における質的アプローチの研究プロセス(テーマの絞り込み・明確化、目的・目標、方法、倫理的配慮)について理解する。

関東学院大学大学院 看護学研究科看護学専攻 授業計画(シラバス)概要版

授業計画		a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容 b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安
第12回	a.	3) 研究実施における質的アプローチの研究プロセス(永田真弓)
	b.	研究実施における質的アプローチの研究プロセス(テーマの点検、データ収集、データ分析・評価、論文作成)について理解する。
第13回	a.	文献クリティーク 1) 研究論文のクリティークの方法(永田真弓)
	b.	研究論文に応じたクリティークの方法について理解する。
第14回	a.	2) 量的研究論文のクリティークの実際(深谷安子)
	b.	量的研究論文のクリティークを行なう。
第15回	a.	3) 質的研究論文のクリティークの実際、まとめ(永田真弓)
	b.	質的研究論文に応じたクリティークを行う。

教科書	D.Fポーリット & C.Tベック(著), 近藤潤子(監訳):看護研究—原理と方法, 医学書院 Nバーンズ & S.Kグローブ(著), 黒田裕子(監訳):看護研究入門—実施・評価・活用—, エルゼビア・ジャパン アメリカ心理学会(著), 前田樹海他(訳):APA論文作成マニュアル, 医学書院
参考書	講義にて、適宜提示する。
準備学習	事前に提示された文献を読んで講義に臨む。
成績評価方法・基準	課題レポート80%、プレゼンテーションとディスカッション20%を総合的に評価する。 レポート、プレゼンテーションは、論証性、内容性、表現性、ディスカッションは参加度を重視する。

関東学院大学大学院 看護学研究科看護学専攻 授業計画(シラバス)概要版

授業計画	a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容 b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安	
科目名	看護理論	
担当者	金井Pak雅子、矢田眞美子	
授業の到達目標及びテーマ	看護の発展史を通して、看護理論醸成のプロセスを理解するとともに、代表的な看護理論の概要を理解する。さらに看護学を構造化するための思考がわかる。	
授業の概要	看護学の理論体系の歴史の変遷を概観し、代表的な理論家の理論を探究することにより、看護理論の成り立ち、構造について理解を深め、諸理論と看護の現象との関係について探究する。	
授業計画	a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容 b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安	
第1回	a.	看護学・看護科学の発展、理論とは何か(金井Pak雅子)
	b.	看護学における理論の位置づけ、重要性について理解できる。
第2回	a.	大理論の評価、看護理論の歴史、看護理論と倫理(金井Pak雅子)
	b.	ナイチンゲール看護論を理解できる。看護理論の歴史を踏まえ、看護理論構築の基礎が理解できる。
第3回	a.	大理論、中範囲理論、実践理論(金井Pak雅子)
	b.	それぞれの理論の特徴、範疇について理解できる。
第4回	a.	ベナーの看護論①、ヘンダーソンの看護論(金井Pak雅子)
	b.	ベナーおよびヘンダーソンの看護論について理解できる。
第5回	a.	ロジャーズの看護理論(金井Pak雅子)
	b.	大理論としてのロジャースの看護理論について理解できる。
第6回	a.	トラベルビーの看護理論(金井Pak雅子)
	b.	トラベルビーの看護理論について理解できる。
第7回	a.	セルフ・トランセンデンス理論(金井Pak雅子)
	b.	セルフ・トランセンデンス理論について理解できる。
第8回	a.	ジーン・ワトソンのケアリング理論(矢田眞美子)
	b.	ケアリング理論について理解できる。
第9回	a.	ウイーデンバックの看護理論(矢田眞美子)
	b.	臨床看護における援助技術について理解できる。
第10回	a.	オーランドの看護過程理論(矢田眞美子)
	b.	看護過程記録(プロセスレコード)による教育訓練について理解できる。
第11回	a.	オレムの看護理論(矢田眞美子)
	b.	看護のセルフケア不足理論について理解できる。

関東学院大学大学院 看護学研究科看護学専攻 授業計画(シラバス)概要版

授業計画	a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容	b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安
第12回	a.	アブデラの看護理論(矢田眞美子)
	b.	患者中心の看護と21の看護問題について理解できる。
第13回	a.	ベナーの看護論②(矢田眞美子)
	b.	現象学的人間論と看護について理解できる。
第14回	a.	看護理論と看護実践(矢田眞美子)
	b.	看護実践を支える看護理論について具体例を用いて検討する。
第15回	a.	看護研究と看護理論構築(矢田眞美子)
	b.	看護研究と看護理論構築について検討する。

教科書	筒井真優美編集.(2015).看護理論家の業績と理論評価、医学書院 Waler & Avant著 中木高夫・川崎修一訳.(2008).看護における理論構築の方法、医学書院
参考書	必要時、授業にて提示する。
準備学習	事前学習として、指定された文献を読んでから授業に臨む。
成績評価方法・基準	プレゼンテーション(30%)、課題レポート(30%)、理論家の分析レポート(40%)

関東学院大学大学院 看護学研究科看護学専攻 授業計画(シラバス)概要版

授業計画	a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容 b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安	
科目名	看護管理論	
担当者	金井Pak雅子、平田明美	
授業の到達目標及びテーマ	医療を取り巻く現状について管理学の諸理論を活用しながら分析することができる。さらに、ヘルスケアシステムのなかでの看護管理の役割について理解できる。	
授業の概要	リーダーシップ、マネジメント、意思決定、システム論、変革論など組織運営に関する理論を活用し、看護の実践場面において管理的視点で分析できる能力を養う。	
授業計画	a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容 b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安	
第1回	a.	ガイダンス/看護管理が目指すもの、看護管理学の概念 (金井Pak雅子・平田明美)
	b.	本科目の位置づけ、授業の進め方/看護管理学の概念枠組みについて理解できる。
第2回	a.	システム論(金井Pak雅子)
	b.	システム論の用語、システム論を使って組織について理解できる。
第3回	a.	組織論(金井Pak雅子)
	b.	組織とは何か、組織開発、組織図、意思決定、組織デザインについて理解できる。
第4回	a.	リーダーシップ(金井Pak雅子)
	b.	リーダーシップの定義、状況別リーダーシップ、リーダーシップスタイル、サーバントリーダーシップ、変革型リーダーシップについて理解できる。
第5回	a.	マネジメント(金井Pak雅子)
	b.	マネジメントの定義、マネージャーの役割、ビジョンについて理解できる。
第6回	a.	マネジメント理論(金井Pak雅子)
	b.	管理論の歴史的変遷について理解できる、テイラー、ファヨールメイヤー、ウエイバー、マクレガーの提唱した論について理解できる。
第7回	a.	モチベーション/組織文化(平田明美)
	b.	モチベーションの理論、組織文化とは何か、組織文化測定尺度について理解できる。
第8回	a.	Knowledge Management(金井Pak雅子)
	b.	Knowledge Managementの基本、臨床への適応について理解できる。
第9回	a.	看護管理の要素とプロセス(平田明美)
	b.	看護管理の要素およびそのプロセスが理解できる。
第10回	a.	看護サービスの質(平田明美)
	b.	看護サービスの質の要素、質の向上の具体的アプローチについて理解できる。
第11回	a.	人的資源管理/看護労働市場(平田明美)
	b.	人的資源の基本とその活用、看護職のキャリア開発について理解できる/看護労働市場の現状について理解できる。
第12回	a.	変革論(平田明美)
	b.	変革のプロセス、フォース・フィールド・アナリシスについて理解でき、実践への適応を示唆できる。

関東学院大学大学院 看護学研究科看護学専攻 授業計画(シラバス)概要版

授業計画	a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容	b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安
第13回	a.	リスクマネジメント(平田明美)
	b.	リスクマネジメントの定義、ヘルスケアにおけるリスク低減への具体的方法について示唆できる。
第14回	a.	コンフリクトマネジメント/交渉術(平田明美)
	b.	コンフリクトマネジメントの基本について理解できる/交渉術の基本について理解できる。
第15回	a.	ワーク・エンパワメント理論(金井Pak雅子)
	b.	ワーク・エンパワメント理論の3要素が理解できる。

教科書	中西睦子、小池智子、松浦正子編.(2013).看護サービス管理 第4版、医学書院
参考書	高梨智弘.(1996).マネジメント入門、日本経済新聞社
準備学習	それぞれの授業において事前に提示された文献を読んでから授業に臨む。
成績評価方法・基準	プレゼンテーション(40%)、課題レポート(60%)

関東学院大学大学院 看護学研究科看護学専攻 授業計画(シラバス)概要版

授業計画	a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容 b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安	
科目名	看護継続教育学	
担当者	高島尚美、青木由美恵	
授業の到達目標及びテーマ	看護ケアの質を高めるために必要な看護職への教育的働きかけ、教育環境の調整等、看護の実践現場の質を高めるための継続教育に関するプログラム開発のための本質的な知見や方略を理解できる。	
授業の概要	看護専門職としてのキャリア開発を促進するための教育論や組織的取り組みについて検討し、そのプログラムの一部を授業デザインし実際にMicro Teachingを実施するプロセスを通して、教育力を高める。すべてのプロセスにおけるリフレクションを通して、学ぶことの意味や教えるということを個人や集団で探究する。	
授業計画	a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容 b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安	
第1回	a.	ガイダンス、看護継続教育学とは(青木由美恵)
	b.	本科目における目的や到達目標および看護継続教育学の概要や学び方が理解できる。
第2回	a.	看護継続教育学概説: 看護継続教育学を構成している要素(高島尚美)
	b.	現状の継続教育における課題分析をし、人を育てること・教えることとはを自分の経験から考察する。
第3回	a.	看護継続教育におけるリフレクションの活用と効果 その1(青木由美恵)
	b.	リフレクションの概念および背景を知り、「学習」を考察する。
第4回	a.	看護継続教育におけるリフレクションの活用と効果 その2(青木由美恵)
	b.	実際にリフレクションを体験し「学ぶということ」を考察する。
第5回	a.	臨床実践の現場における学びとは・教えるとは何か その1(高島尚美)
	b.	臨床実践の現場における学びとは・教えるとは何か、看護師に必要なコンピテンシーを考察する。
第6回	a.	臨床実践の現場における学びとは・教えるとは何か その2(高島尚美)
	b.	臨床実践の現場における学びとは・教えるとは何か、看護師に必要なコンピテンシーを考察する。
第7回	a.	成人学習者の特徴と成人学習理論(高島尚美)
	b.	成人学習者の特徴と成人学習理論を理解し、支援者の役割を考察する。
第8回	a.	看護継続教育の課題(高島尚美)
	b.	看護継続教育における課題に関する文献検討や議論から課題と解決策を考察する。
第9回	a.	専門職業人のための包括的教育プログラムの現代的意義・看護管理者の役割(高島尚美)
	b.	新人ナースから中堅ナースまでの継続的教育プログラムの一部としての「授業」を創ってみる。
第10回	a.	質の高いクリニカルラダープログラムの企画・作成 その1(高島尚美)
	b.	実際にクリニカルラダーを見直し、授業をデザインしてみる。
第11回	a.	質の高いクリニカルラダープログラムの企画・作成 その2(高島尚美)
	b.	実際に授業デザインし指導案を作成する。

関東学院大学大学院 看護学研究科看護学専攻 授業計画(シラバス)概要版

授業計画	a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容 b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安	
第12回	a.	質の高いクリニカルラダープログラムの企画・作成 その3(高島尚美)
	b.	実際に授業デザインし指導案を作成してみる。
第13回	a.	質の高いクリニカルラダープログラムの作成による実施と評価 その1(高島尚美)
	b.	実際に授業を実施し評価してみる。(マイクロティーチング)
第14回	a.	質の高いクリニカルラダープログラムの作成による実施と評価 その2(高島尚美)
	b.	実際に授業を実施し評価してみる。(マイクロティーチング)
第15回	a.	臨床実践における能力を高めるための教育のあり方(青木由美恵)
	b.	「評価」とは何かを理解し、リフレクションによるコース評価を行なう。

教科書	指定なし
参考書	参考文献は授業中に適宜紹介する。
準備学習	事前に紹介する文献を読んで授業に参加してください。
成績評価方法・基準	1. 授業への参加度20% 2. プレゼンテーション40% 3. 最終レポート40%

関東学院大学大学院 看護学研究科看護学専攻 授業計画(シラバス)概要版

授業計画	a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容 b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安	
科目名	看護政策論	
担当者	坂梨薫、平田明美、小池智子、岩澤和子、橋本美穂、石田昌宏、小林康司	
授業の到達目標及びテーマ	<p>1. 看護政策の変遷を概観し、政策決定過程を理解する。</p> <p>2. 看護政策決定過程に関わる関連諸団体の役割について理解する。</p> <p>3. 国や地方公共団体における看護政策の現状と課題を理解する。</p> <p>4. 看護をめぐる政策決定に関わる今日的な諸課題を明らかにし、看護職者が、これら諸課題に取り組む姿勢について考察する。</p>	
授業の概要	<p>現在の日本における保健医療福祉の動向を踏まえ、政策と政策決定プロセスに関する基本的な構造を理解し、看護制度と関連する政策課題への関心を高める。また、保健医療福祉行政の課題を多角的に明らかにし、看護職が政策過程に参画する意義を理解する。</p>	
授業計画	a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容 b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安	
第1回	a.	オリエンテーション / 看護を取り巻く環境の変化(坂梨薫・平田明美)
	b.	科目の位置づけ、ねらい、学習内容と進め方/看護を取り巻く社会環境の現状と課題の概要を理解できる。
第2回	a.	看護における政策過程(小池智子)
	b.	看護政策過程を理解できる。
第3回	a.	看護現場に影響を及ぼす法令(保助看法、看護師等の人材確保の促進に関する法律)(小池智子)
	b.	看護に影響を及ぼす法令や政策を受け、施設でどのような対応が行われているか理解できる。
第4回	a.	厚生労働省における看護技官の活動(岩澤和子)
	b.	政策に関与する厚生労働省における看護技官の活動を理解できる。
第5回	a.	診療報酬・介護報酬改定への看護職の関与(岩澤和子)
	b.	政策過程の中で診療報酬・介護報酬改定に看護職がどのように関わっているか理解できる。
第6回	a.	看護・医療政策の立案に果たす職能団体の役割と課題①(橋本美穂)
	b.	看護政策決定過程に関わる関連諸団体の役割と相互関係を理解できる。
第7回	a.	看護・医療政策の立案に果たす職能団体の役割と課題②(橋本美穂)
	b.	看護政策決定過程への看護職者のかかわり方について理解できる。
第8回	a.	看護政策決定過程における国会議員の活動(石田昌宏)
	b.	看護政策決定過程における国会議員の役割と活動について理解できる。
第9回	a.	日本の社会保障政策の変遷(石田昌宏)
	b.	日本の社会保障政策の変遷を理解できる。
第10回	a.	日本の社会保障政策の現状と課題(石田昌宏)
	b.	日本の社会保障政策の現状と今日的課題を理解できる。
第11回	a.	政策形成過程と政策立案の手法(坂梨薫)
	b.	これまでの講義から、関心あるテーマについて文献検討を行い政策の立案を行う。

関東学院大学大学院 看護学研究科看護学専攻 授業計画(シラバス)概要版

授業計画	a. 内容の概要: 授業回ごとの具体的授業内容	b. 到達目標: 授業回ごとに目標とする理解度の目安
第12回	a.	病院における政策展開(小林康司)
	b.	政策を受けて、病院での対応の現状と課題を理解できる。
第13回	a.	ディスカッション(看護政策に関する紹介と政策提言 プレゼンテーション)(坂梨薫・平田明美)
	b.	政策提言をプレゼンテーションしディスカッションを行う。
第14回	a.	まとめの討論(坂梨薫・平田明美)
	b.	政策提言と政策に寄与する研究について考える。
第15回	a.	課題レポートの作成(坂梨薫・平田明美)
	b.	看護政策の現状と課題について自己の考えをまとめることができる。

教科書	指定しない
参考書	看護法令要覧(日本看護協会出版会) 看護関係統計資料集(日本看護協会出版会) 看護六法(新日本法規) 見藤隆子他:看護職者のための政策過程入門(日本看護協会出版会) 金子光編:初期の看護行政(日本看護協会出版会)
準備学習	
成績評価方法・基準	プレゼンテーション(40%)、授業での意見交換(10%)、最終レポート(50%)で総合評価する。 プレゼン、レポート評価:①内容の正確性、主要な論点の明確性(50%)、②体験や文献からの多角的視点かつ現実的な考察(30%)、③提言の独創性かつ現実性(20%) 授業での意見交換:討論の促進への貢献度、内容や頻度、タイミングの適切性の総合評価